

CNJ Speakers

Know (≠ No) More Cancer 私たちは、もっと伝えたい



No.
07

Special Talk ～中川和彦 × 秋山ありす対談
CNJ News / CNJ Report
AKIBA Cancer Forum・フォローアップ総会 Report
海外がん医療 TOPICS

もっと

社会に広げたい

肺がんへの認知を

腫瘍内科医×アイドル



中川 和彦

近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門教授。1983年に熊本大学医学部を卒業。肺がんの早期診断・治療、固形がんの薬物療法、新薬の臨床試験、がんの分子標的治療、縦郭腫瘍の診断と治療が専門。日本臨床腫瘍学会暫定指導医、日本臨床薬理学会指導医。特定非営利活動法人日本臨床腫瘍学会（JSMO）副理事長。第55回日本肺癌学会学術集会会長を務める。

NPO法人キャンサーネットジャパン（以下、C N J）は、11月14日（金）

16日（日）に京都で開催される、第55回日本肺癌学会学術集会の開催趣旨に

賛同し、医療者・患者向けプログラムの企画・運営に関わっています。そこで、

本学会会長の中川和彦先生と、本学会広報大使の現役医学部生でありアイドル

の秋山ありすさんにお話を伺いました。中川先生には、学会への想いやC N

Jとの連携について、秋山さんには、アイドルと学業の両立や、がん啓発活動

に関わって感じることをお話しいただきました。

肺がん患者を医師だけでなく

社会全体で支えられるように

— 肺がん医療の進歩は？ —

中川 私が医師になった1983年ごろは、肺がんを専門にする医師はほとんどおらず、化学療法にだれも関心を持っていなかった時代でした。それが変わり始めたのは

肺がんは固形がんの中で最も予後の悪い疾患ですが、最も薬剤が進歩したがんでもあります。それは長年肺がん治療に携わってきた研究者としては嬉しいことです。

1990年代になってから。強力な化学療法

— 秋山さんが医師を目指したきっかけは？ —

法が肺がんの予後を変えるかもしれないと期待されました。しかし上手くいかず、次の転機は、分子標的薬であるゲフィチニブ

秋山 小さいころに母の体が弱くて、治してあげたいと思ったのがきっかけでした。医学部に入学した後、L i n Qとしても活動するようになり、最初は学業がおそろそ

製剤の臨床試験がスタートした1998年

になって、アイドルとの両立に悩んだ時期もありました。今は医学部生としての経歴

です。私はその第1相臨床試験に携わる

チャンスに恵まれ、その効果を目にしたときは驚いたものです。それからこの10年間で、肺がん治療は急激な進歩を遂げました。

チャンスに恵まれ、その効果を目にしたときは驚いたものです。それからこの10年間で、肺がん治療は急激な進歩を遂げました。

で、肺がん治療は急激な進歩を遂げました。

がら、学業とアイドル、どちらも頑張っています。今5年生ですが、メンバーの理解と協力のおかげで両立できています。

中川 5年生は忙しいですね。アイドルを経験した秋山さんが私たちの仲間となる日を楽しみにしています。肺がんは予後の厳しい疾患ですが、患者さんと偽りのない人間関係が築け、亡くなられる寸前に真実の言葉を交わせたとき、それは私たち医師のエネルギーになります。ときに患者さんとの信頼関係が崩れてしまうこともありませんが、積み重ねで発見できることもたくさんあります。若い先生方には、くじけず多くのことを吸収して成長してほしいです。

—がん啓発活動で感じたことは？

秋山 最初にC N Jの小児がんセミナーに参加したとき、学校の実習はまだ始まってなくて、がん患者さんと関わるのは初めてでした。直接お会いして、授業でしか知らなかった「がん」「がん患者」の存在を実感し、医学部生として学ぶこともたくさんありました。また、ファンがLinQを目当てに小児がんセミナーやレモネードスタンドに来てくれ、参加することで、がんを

知るきっかけや興味を持つきっかけになってもらえることに意義を感じています。社会全体がもっとがんについて興味を持ってもらえるよう、その架け橋になりたいです。

—日本肺癌学会学術集会の広報大使にアイドルである秋山さんを起用した理由は？

中川 肺癌学会は、肺がん医療の向上のために、科学的に議論をしあう熱気に満ちた学会で、日本の学会の中で最もマニアックな医療者の集まりです。そこにアイドルが参入することはミスマッチで、私自身も最初は想像が付きませんでした。しかし、新奇性は科学として大切なことなので、面白いかもしれないと思ったのです。それから初めてLinQのライブを見に行き、「若い人の持つエネルギー」のすごさを感じました。このエネルギーを、75歳以上の患者さんが半分を占める超高齢者疾患である肺がんを研究する学会に投入できたら、肺がんのイメージが変わる転機になるかもしれないと予感したのです。賛否両論ありますが、私は秋山さんに広報大使になってもいい、少しずつ肺癌学会のイメージが変わっていると実感しています。

現役医学部生でありアイドル

がんを伝える架け橋になりたい

—広報大使として意気込みは？

秋山 とても光栄なことです。LinQとして4年目ですが、これまでやりたくても、医学部生でありアイドルという立場で関われるお仕事はほとんどなくて。アイドルとして医療の世界に関われることに感謝をしながら、精一杯がんばります。

—C N Jと医療者の連携について

中川 C N Jとは2年前に日本臨床腫瘍学会で一緒にしたのが最初です。豊富な人脈とコンテンツ、医療者では思いつかないアイデアを持ってもらえるので、価値観を共有しながら、達成したい目標に向かって幅広い戦略を提案してもらえるのは有難いし、信頼しています。

—第55回日本肺癌学会学術集会への想い

中川 今回は医師だけでなく、看護師や薬剤師などのメディカルスタッフ、患者さんやご家族、一般の方など多種多様の方に集まっていたとき、肺がん患者さんをチーム医療や社会全体で支える意識を持つ、そういう基点になる学術集会を目指しています。秋の京都で、肺がんについて、一緒に学び考えていただければと思います。

—これからの目標は？

秋山 メディカルとして、もっと患者さんに直接お会いしたい。そして病気を一緒に共有し、音楽で元気を与えたいです。



秋山ありす

1990年、福岡県出身。現役の医学部生として学業に励むと同時に、福岡を拠点に活動するアイドルグループ「LinQ (リンク)」の第一期メンバーとして活躍中。小児がんセミナーなど、がん啓発活動にも関わり、メディカルアイドル＝メディカルとしても活動中。第55回日本肺癌学会の広報大使を務める。LinQ 3rd シングル「ウェッサイ!! ガッサイ!!」を発売中。

文／御船美絵
写真／村山良

11月14日(金)・15日(土)・16日(日)に京都で開催 第55回日本肺癌学会学術集会へ行こう! 患者・家族・市民向けプログラムの参加受付中

11月14日(金)・16日(日)に京都(国立京
都国際会館)で第55回日本肺癌学会学術集会
長・近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門教授
中川和彦先生)が開催されます。C.N.Jはその
開催趣旨に賛同し、患者向け、医療関係者向け
プログラムの企画・運営に関わっています。

日本では毎年8万人以上が肺がんと診断さ
れ、男女ともに死亡者数もとも多いとされ
ています。一方で、近年、治療法の進歩は目覚
ましく、肺がんのタイプ別によって有効な治療
法の導入や治療薬の開発が進んでいます。

本学術集会では、今、肺がんを闘う患者



▲11/16(日)11:40-
12:20 みんなで作る肺
がん医療では司会中
井 美穂(フリーアナウ
ンサー)さんが出演

さん、ご家族、一般の方々にも、肺がん医
療、肺癌学会の取り組みを知ってもらい、
医療者と一緒に良い肺がん医療を実現
するため、一般の方々にご参加いただける
「GO、GO(55)肺癌学会」学術集会へ行こ
う!!」プログラムを企画しました。

本学会へは、患者さん・ご家族・一般市

GO,GO(55)肺癌学会:学会へ行こう!!

11月14日(金)

9:00 ~ 10:00	オリエンテーション
10:00 ~ 11:00	肺がんの概要
11:00 ~ 12:00	小細胞肺がんの治療と今後
14:20 ~ 15:20	肺がんの組織型別治療
15:20 ~ 16:20	肺がんと健康食品と代替療法
16:20 ~ 17:20	肺がんのステージ別治療

11月15日(土)

9:00 ~ 10:00	がんと就労のこと
10:00 ~ 11:00	がん医療とお金・社会保障制度のこと
15:40 ~ 16:40	がんに対する緩和ケアのこと
16:40 ~ 17:40	がん医療情報のこと

11月16日(日)

9:00 ~ 10:00	肺がんの薬物療法の進歩と実際
10:00 ~ 11:00	薬物療法の副作用対策とケア
11:40 ~ 12:20	みんなで作る肺がん医療(ランチあり)
12:40 ~ 13:40	肺がんに対する免疫療法の実例

プログラム詳細・お申し込みについては
「GO, GO(55)肺癌学会:学会へ行こう!!」特設サイト
<http://www.cancernet.jp/55jlcs/>

民の皆さまは、
3000円
(3日間共通)
でご参加いた
だけます(要
事前参加登
録)。紅葉のき
れいな秋の京
都で、肺がん
について学び
ませんか。多
くの皆さまの
ご参加をお待
ちしています。

第55回日本肺癌学会学術集会市民公開講座 「“あなた”が“大事な人”が、がんになった時、 知っておくべき日本のがん(肺がん)医療」

10月18日(土)14:00~17:00・参加費/無料
大阪国際会議場(京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ)

・当日講演プログラム

「近年の肺がん治療(特に薬物療法)の進歩と期待される治療」
「肺がんと共に働くために重要なこと」
「患者・家族が知っておくべきがん医療情報とは?」
「ママが生きた証(あかし)」「より良いがん医療を受けるためには?」
「ぼくたちの家族」「医療者とのコミュニケーションで大事なこと」~
福岡発アイドルグループ「LinQ(リンク)」スペシャルライブ~

※ご来場の皆様に「よくわかる肺がん」(作成元:WJOG、1,000円)を無料配布
お申し込み・詳細は
<http://www.cancernet.jp/55jlcs4c/>



▲7/27 肺がん医療のすべて in 大阪~Q&Aの様子
左から中川和彦先生/川口知哉先生/森本茂文先生
秋山正子先生/井本里士さん/多田弘人先生
他、栗原稔男先生、看護師・小山富美子さんも司会で登壇



▲9/7 がん(肺がん)患者とのコミュニケーション in 福岡~Q&A
の様子 左から中川和彦先生、樋口祐介さん
明智龍男先生/梅田恵先生/渡邊裕之先生/中西洋一先生
他、看護師・江口恵子さん、薬剤師・藤原季美子さんも司会で登壇



▲8/2 がん患者と栄養のこと in 名古屋 Q&A
の様子 左から中川和彦先生
川口美喜子先生/坂英雄先生/梅田恵先生
/宗像若菜さん/澤幸祥先生
他、看護師・向井未年子さんも司会で登壇

*医療従事者対象「肺がんチーム医療推進フォーラム」 近年の肺がん分子標的薬剤とその副作用対策

10月11日(土)13:00~16:00・参加費/無料
秋葉原 UDX(JR 秋葉原電気街口から徒歩3分)

・当日講演プログラム

「近年の肺がん分子標的薬剤とその副作用対策」
「副作用マネジメント」
「新たな肺がん 看護・医療モデル<マクミラン財団・マギーズセンターの事例から>」
「肺がん治療に携わる医師からのメッセージ」
パネルディスカッション & QA

※ご来場の皆様に「よくわかる肺がん」(作成元:WJOG、1,000円)を無料配布
お申し込み・詳細は
<http://www.cancernet.jp/55jlcs4ms/>
※医療従事者を対象としたフォーラムです。一般の方はお申込みできません。
ご了承の程宜しくお願い致します。

ありがとうございます
合計参加者
251名
日本肺癌学会学術
集会を前に、大阪・福
岡・名古屋で医療従
事者対象の「肺がんチ
ーム医療推進フォー
ラム」を開催しまし
た。看護師・薬剤師
など、多くのメディ
カルスタッフにご参
加いただき、肺がん
医療、肺癌学会の
取り組みを知って
いただく機会とな
りました。



▲ 8月30日に開催したアンバサダーサミットには、全国から23名のアンバサダーの先生方にお集りいただきました ▼サミットの様子



科学的根拠に基づく医療の啓発に取り組み、患者が納得し安心して治療を受けられる医療環境の実現を目指すものです。

アンバサダーは、全国47都道府県から外科医、内科医各1

「ブルーリボンキャンペーン」
大腸がんの正しい情報を発信！
ブルーリボンキャンペーンアンバサダー
現在、全国47都道府県に84名が誕生

4年目を迎えた「ブルーリボンキャンペーン」では、大腸がん患者が、全国各地に住んでいても科学的根拠に基づく治療法を知り、自らの意思で治療方針を選択、そして患者が自身の責任において、納得して治療が受けられる医療環境の実現を目的としています。

その実現のためには、全

全国各地で大腸がん診療に関わる医師の協力が不可欠です。そこで、今年度はブルーリボンキャンペーンを拡大し、新たに「アンバサダープログラム」をスタートしました。これは、ブルーリボンキャンペーンの趣旨に賛同する全国各地のアンバサダー（大使）の先生方と共に、大腸がんの疾患啓発

アンバサダーは、全国47都道府県から外科医、内科医各1名ずつからなる計100名の就任を目指しており、現在、全国に84名のアンバサダーが誕生しています。

8月30日には、全国のアンバサダーが横浜に集結し、活動の目標を話し合う「アンバサダーサミット」を開催。当日は23名の先生方にご出席いただき、アンバサダーとしての目的や役割、具体的な活動内容を共有しました。さらに、6月と9月にはWEBカンファレンスを実施。9月の会では、アンバサダーを含む医療関係者を対象に、プロランニングコーチで大腸がん経験者の金哲彦さんの体験談を通して、患者・家族に求められている情報の内容や、提供するタイミングについてお届けしました。

今後にご期待ください。

大学病院とNPOのコラボレーションで共同制作した初プロジェクト「もつと知ってほしい血液のがんのこと2014」が8月8日にスタートしました。これは佐賀大学医学部附属病院の造血器腫瘍を専門とする医師が、「血液のがん」について、患者や家族向けに分かりやすく説明した映像を、CNJホームページ内の「特設サイト」および、「キャンサーチャンネル」にて、パソコンだけでなく、スマートフォンなどのタブレットで、いつでもどこでも何度でも繰り返し視聴することが可能なプログラムです。

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液のがんは、それぞれの罹患率が少なく、治療方法も経過観察から、ドナーを要する造血幹細胞移植までと非常に幅広いため、情報を求める患者のニーズが満たさ

もつと知ってほしい血液のがんのこと2014

動画で学ぶ「血液のがん」
佐賀大学医学部血液・呼吸器・腫瘍内科
CNJとで共同制作し好評配信中

大学病院とNPOのコラボレーションで共同制作した初プロジェクト「もつと知ってほしい血液のがんのこと2014」が8月8日にスタートしました。これは佐賀大学医学部附属病院の造血器腫瘍を専門とする医師が、「血液のがん」について、患者や家族向けに分かりやすく説明した映像を、CNJホームページ内の「特設サイト」および、「キャンサーチャンネル」にて、パソコンだけでなく、スマートフォンなどのタブレットで、いつでもどこでも何度でも繰り返し視聴することが可能なプログラムです。

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液のがんは、それぞれの罹患率が少なく、治療方法も経過観察から、ドナーを要する造血幹細胞移植までと非常に幅広いため、情報を求める患者のニーズが満たさ

大学病院とNPOのコラボレーションで共同制作した初プロジェクト「もつと知ってほしい血液のがんのこと2014」が8月8日にスタートしました。これは佐賀大学医学部附属病院の造血器腫瘍を専門とする医師が、「血液のがん」について、患者や家族向けに分かりやすく説明した映像を、CNJホームページ内の「特設サイト」および、「キャンサーチャンネル」にて、パソコンだけでなく、スマートフォンなどのタブレットで、いつでもどこでも何度でも繰り返し視聴することが可能なプログラムです。

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液のがんは、それぞれの罹患率が少なく、治療方法も経過観察から、ドナーを要する造血幹細胞移植までと非常に幅広いため、情報を求める患者のニーズが満たさ

大学病院とNPOのコラボレーションで共同制作した初プロジェクト「もつと知ってほしい血液のがんのこと2014」が8月8日にスタートしました。これは佐賀大学医学部附属病院の造血器腫瘍を専門とする医師が、「血液のがん」について、患者や家族向けに分かりやすく説明した映像を、CNJホームページ内の「特設サイト」および、「キャンサーチャンネル」にて、パソコンだけでなく、スマートフォンなどのタブレットで、いつでもどこでも何度でも繰り返し視聴することが可能なプログラムです。

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液のがんは、それぞれの罹患率が少なく、治療方法も経過観察から、ドナーを要する造血幹細胞移植までと非常に幅広いため、情報を求める患者のニーズが満たさ

大学病院とNPOのコラボレーションで共同制作した初プロジェクト「もつと知ってほしい血液のがんのこと2014」が8月8日にスタートしました。これは佐賀大学医学部附属病院の造血器腫瘍を専門とする医師が、「血液のがん」について、患者や家族向けに分かりやすく説明した映像を、CNJホームページ内の「特設サイト」および、「キャンサーチャンネル」にて、パソコンだけでなく、スマートフォンなどのタブレットで、いつでもどこでも何度でも繰り返し視聴することが可能なプログラムです。

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液のがんは、それぞれの罹患率が少なく、治療方法も経過観察から、ドナーを要する造血幹細胞移植までと非常に幅広いため、情報を求める患者のニーズが満たさ

佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科 × NPO法人キャンサーネットジャパン

動画配信で学ぶ
もつと知ってほしい
血液のがんのこと
Haematologic Cancers

メッセージ 動画 過去動画アーカイブ お問い合わせ

血液の病気と言われたら...?!

納得して治療が受けられるように、まずは血液の病気のこと、標準的な治療法についてこの動画で知ってください。正確な情報を知ることが、がんに向き合う力を与えてくれるはずです。

まずはこの動画を視聴しよう！

No.1 血液とは？ どうして血液がんになるの？
正常な血液のこと、どうしてがんになるのか、検査はどんなものがあるのかを説明しています。

No.2 急性骨髄性白血病の治療

No.3 急性リンパ性白血病の治療

No.4 慢性骨髄性白血病の治療

No.5 慢性リンパ性白血病と慢性骨髄性白血病の治療

No.6 悪性リンパ腫の治療

No.7 血液のがんに伴うDICの治療

No.8 多発性骨髄腫の治療

No.9 骨髄異形成症候群の治療

No.10 成人T細胞白血病・リンパ腫

No.11 造血幹細胞移植について

No.12 血液がん患者さんのための、血液検査データの読み方

※特設サイトで動画配信→ <http://www.cancernet.jp/hematologiccancer/>



患者さんのためにと木村先生自らも制作に奮闘してくださいました

秋葉UDXの4階フロアを貸し切って開催した「患者・家族・市民のためのAKIBA Cancer Forum2014」。9つの会場で、日本を代表する医療者からのがん腫別、治療法別の50近い講演や、近年話題を集める「がんと教育」「がんとお金」などがテーマのセミナー、子ども対象の医療プログラム、映画や落語などのエンターテインメント、ヨガ、メイク&撮影会、企業・患者会の展示などが行われました。

参加者
1025名

ありがとう
ございました

夏真っ盛りの8月9日に秋葉原で開催した「患者・家族・市民のためのAKIBA Cancer Forum2014」。医療系の学会をイメージし、来場者が知りたい情報、興味のあるコンテンツを自ら選択して参加するという形で構成した本フォーラムは、CJNとして初めての挑戦でした。お陰さまで予想を遙かに超える1025名にご来場いただき、プログラムには延べ3000名近い皆さまにご参加いただきました。

セミナーだけでなく、がんサバイバー対象のヨガや、「がんを抱えても大笑いできる」を体感した落語、プロのメイクアップアーティストとフォトグラファーの手によりとっておきの1枚が残せるメイク&撮影会、子どもたちが自由にがんについて学べる自習コーナーや、小児がん支援「レモネードスタンド」のボランティア体験ができるエリアなど、がんについて知って学べる参加型のプログラムも好評でした。また、企業・患者会の出展ブースエリアは、同病の仲間との出会いの場にもなったようでした。

開催趣旨に賛同いただき、無償でご協力いただいた医療者・講師陣の皆さま、会を盛り上げてくださったボランティアスタッフの皆さま、ご来場いただいた皆さま、ご理解、ご協力、ご支援を頂いたすべての皆さまに御礼申し上げます。

「テレビで見るがんは怖かったけど、今日参加してがんが怖くなくなった」と目を輝かせて話してくれた小学生の男の子や、「興味深いテーマがたくさんあって」とプログラムにたくさん付けた赤ペンの丸印を見せてくださった闘病中の男性、



▶上から／

がんサバイバーのためのヨガ、子どものための「がんの自習コーナー」、満員のセミナー会場の様子、メイク&撮影会、いのちの落語・笑いは最高の抗がん剤、レモネードスタンドのボランティア体験、「パイレーツオブ東京湾」によるコメディショー





Thank you for 
your cooperation.

▲上段左から当日登壇していただいた講師の皆様

勝俣 範之先生／藤井 正人先生／山内 英子先生／中山 富雄先生／早川 和重先生／坪井 正博先生／山本 精一郎先生／佐々木 康綱先生
成田 善孝先生／赤倉 功一郎先生／上園 保仁先生／大野 智先生／奥田 慎也先生／黒田 尚子先生／三鍋 俊春先生／金石 圭祐先生
久末 伸一先生／古瀬 純司先生／落合 和徳先生／山口 研成先生／上坊 敏子先生／杉谷 巖先生／川井 章先生／後藤 憐先生
國土 典宏先生／近藤 恒徳先生／佐藤 武郎先生／奥坂 拓志先生／篠田 裕介先生／山崎 直也先生／円谷 彰先生／山内 やよい先生（ヨガ）
菊地 栄次先生／樋口 強先生（いのちの落語）／中村 晃和先生／菊地 盤先生／阿南 里恵先生
他、小島 隆嗣先生にも登壇ご協力いただきました

■第5回フォローアップ総会 ～BEC・CIN 認定者活動報告～を開催しました

当日は、全国の乳がん体験者コーディネーター（BEC）、がん情報ナビゲーター（CIN）の方々から活動報告をしていただくフォローアップ総会も開催しました。「ピアサポート活動」「CIN－私の活かし方」など、BEC、CINとして全国でご活躍されている方々のお話は、これから活動を始めたいと考えている認定者にとって大きな刺激となりました。また1～9期までの縦のネットワークづくりや、BECとCINの方々が相互に交流できる機会となりました。

※ BEC・CIN 養成講座受講については <http://www.cancernet.jp/training>



▲ 吉田 羊子さん
BEC 7期（京都府）
「京都乳がん
ピアサポートサロン
～fellows～の活動」



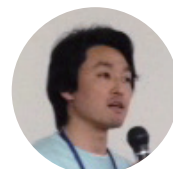
▲ 村上 利枝さん
BEC 1期（神奈川県）
「BEC から始まった
相模原市の
ピアサポート活動」



▲ 与儀 淑恵さん
BEC 8期（沖縄県）
「沖縄から～
体験した人につながる
サロンづくり」



▲ 世継 祐子さん
CIN 5期（福岡県）
「伝える力を
きたえる」



▲ 前原 克章さん
CIN 6期（福岡県）
「CIN ～
私の活かし方」



▲ 服部 文さん
CIN 8期（愛知県）
「がん患者の
仕事と治療の両立」



胃がん疾患治療啓発キャンペーン もっと知ってほしい 胃がんのこと2014 in 熊本

8月23日に熊本で開催。当日は福島 絵美さん（RKKアナウンサー）の司会で始まり、胃がんの疫学・診断・外科治療・薬物療法について、各専門医師に分かりやすく説明いただきました。また、参加者から事前にいただいた質問に答えるQ&Aトークセッションを開催。患者さんから「先生方の詳細な説明は大変役に立つと思います」と感想をいただきました。



▲左から／岩槻政晃先生、坂本快郎先生、馬場秀夫先生、沖英次先生、庄野孝先生

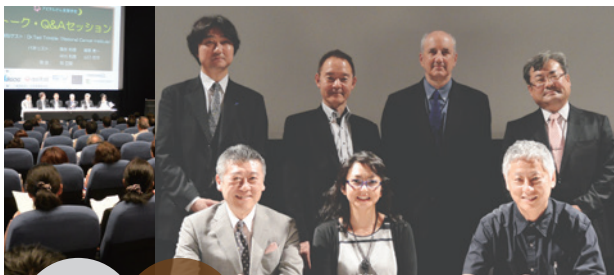
参加者
102名

ありがとうございました

8/23 胃がんセミナーへご協力をありがとうございました！（※動画公開中）

開会挨拶	胃がんの疫学	胃がんの診断	胃がんの外科治療	胃がんの薬物療法
座長：馬場 秀夫先生 熊本大学医学部附属病院 消化器外科	岩槻 政晃先生 済生会熊本病院 外科	庄野 孝先生 熊本大学医学部附属病院 消化器内科	坂本 快郎先生 熊本大学医学部附属病院 消化器外科	沖 英次先生 九州大学大学院 消化器総合外科

特設サイト <http://www.cancernet.jp/gastriccancer/>



参加者
136名

ありがとうございました

▲左上から／山口拓洋先生、藤原恵一先生、Dr.Ted Trimble、中川和彦先生 左下から／落合和徳先生、滝口裕一先生、司会の町田聖さん、平子義紀さん

7月3日に、東京（秋葉原UDX）でNPO法人婦人科悪性腫瘍研究機構と共催。当日は、各専門医師より臨床試験について講義いただきました。今回の特別授業では、アメリカ国立癌研究所よりDr.Ted Trimbleを来賓として、「日本の臨床試験の現状と将来」についてトーク・Q&Aセッションを行いました。また、ヘルスケア関連企業の参加者からは、「がんの臨床試験が他の臨床試験とどう違うのかを学べた」と感想をいただきました。

アピタルがん夜間学校 特別授業 もっと知ってほしい がんの臨床試験のこと

7/3 アピタルがん夜間学校 特別授業へご協力をありがとうございました！

開講挨拶	がんに対する臨床試験： 私たちが知っておくべきこと	婦人科腫瘍（女性のがん） 治療を変えた臨床試験	肺のがん治療を 変えた臨床試験	トーク Q&Aセッション Dr.Ted Trimble National Cancer Institute
落合 和徳先生 婦人科悪性腫瘍研究機構 (JGOG) 理事長	山口 拓洋先生 JORTC（日本がん研究治療機構） 理事長 東北大学大学院 医学系研究科・ 医学部 医学統計学分野 教授	藤原 恵一先生 婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG） 副理事長 埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 教授	中川 和彦先生 日本臨床腫瘍学会（JSMO） 副理事長 近畿大学医学部内科学腫瘍内科 部門 教授	



合計参加者
251名

ありがとうございました

住吉 義光先生
講演では「健康食品・
サプリメントで悩ん
だら、医療従事者
に相談してください
とアドバイスも

加賀美 芳和先生
講演では「高齢者の
増加も伴い、負担が
少ない放射線治療
は今後増えてくるで
しょう」とも

古瀬 純司先生
講演では「吐き気止
めの薬や抗がん剤の
質も向上し、副作用
も改善されている
とのお話も

毎月第3水曜に東京（秋葉原UDX）で開催しているアピタルがん夜間学校。6月18日は「がんと代替医療（サプリメント）のこと」、7月16日は「がんと放射線治療のこと」、8月20日は「がんと化学療法のこと」を開催。各セミナーの様子は、朝日新聞医療サイト「アピタル」のアピタル夜間学校、キャンサーチャネルで動画公開をしています。この機会にぜひご視聴ください。

アピタルがん夜間学校 もっと知ってほしい がんと代替医療（サプリメント）のこと がんと放射線治療のこと がんと化学療法のこと

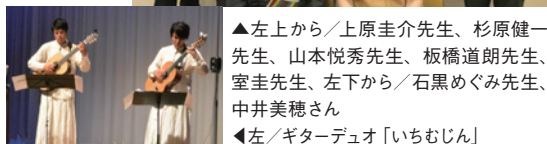
6月～8月開催：アピタルがん夜間学校へご協力をありがとうございました！

もっと知ってほしい がんと代替医療（サプリメント）のこと	もっと知ってほしい がんと放射線治療のこと	もっと知ってほしい がんと化学療法のこと
住吉 義光先生 玄々堂木更津クリニック 院長	加賀美 芳和先生 昭和大学病院 放射線治療科	古瀬 純司先生 杏林大学医学部附属病院 腫瘍内科

キャンサーチャンネルでも動画公開中→ <http://www.cancerchannel.jp/>

参加者
300名

ありがとうございました



▲左上から／上原圭介先生、杉原健一先生、山本悦秀先生、板橋道朗先生、室圭先生、左下から／石黒めぐみ先生、中井美穂さん

▲左／ギターデュオ「いちむじん」

7月24日に、フリーアナウンサー・中井美穂さんの司会で名古屋（中電ホール）でセミナーを開催。大腸がんの検診・診断・検査、外科的治療・薬物療法を各専門医師に分かりやすく説明いただきました。また特別講演やミニコンサートもあり、来場者からは、「山本先生の生き生きとしたお姿に感動し、勇気をいただきました。石黒先生と室先生のお話もとても分かりやすかったです。「いちむじん」さんのライブもすてきで、ギターの音色の奥深さに感動。中井さんの進行もさすがで心地良かったです」と感想をいただきました。

7/24 大腸がんセミナーへご協力をありがとうございました！（※動画公開中）

増え続ける大腸癌を克服するために 杉原 健一先生 東京医科歯科大学 特任教授 大腸癌研究会 会長	口腔癌治療医が 進行大腸がんに着いて 山本 悦秀先生 金沢大学 名誉教授 城南歯科医院 理事長	大腸がん / 大腸ポリープの 診断・検査の実際 石黒 めぐみ先生 東京医科歯科大学大学院 腫瘍外科学	大腸がんの外科的治療と その後の生活 板橋 道朗先生 東京女子医科大学 第二外科	大腸がんの薬物療法 (抗がん剤・分子標的治療) 室 圭先生 愛知県がんセンター 中央病院 薬物療法部	Q&A 上原 圭介先生 名古屋大学 腫瘍外科
---	---	--	--	--	---------------------------------

※特設サイトでは、今後のセミナー及び過去の動画も視聴できます→

<http://www.cancernet.jp/brc/>



▲左から／加藤茂雄さん、寺崎瑞彦先生、角美奈子先生、成田善孝先生、伊東恭悟先生
▶右上／宮下のりこさん
▶右下／会場の様子

参加者
79名

ありがとうございました

7月26日に久留米大学がんワクチンセンター、NPO 法人脳腫瘍ネットワークと共催し、東京（秋葉原UDX）でセミナーを開催。各専門医師から脳腫瘍の概要や治療についてお話いただきました。セミナー終了後には、久留米大学の5名の医師による個別相談会も実施。医療従事者からは「ペプチドワクチンについて知ることが出来た」と感想をいただきました。

7/26 脳腫瘍セミナーへご協力をありがとうございました！（※動画公開中）

開会挨拶 伊東 恭悟先生 久留米大学 がんワクチンセンター センター長	脳腫瘍を知る～脳腫瘍の概要： 診断から緩和医療まで～ 成田 善孝先生 国立がん研究センター 中央病院 脳脊髄腫瘍科	脳腫瘍の放射線治療 角 美奈子先生 国立がん研究センター 中央病院 放射線治療科	脳腫瘍の薬物療法～臨床試験からワクチン療法まで～ 寺崎 瑞彦先生 久留米大学病院 脳神経外科	Q&A：加藤 茂雄さん 脳腫瘍ネットワーク 理事 開会挨拶：宮下のりこさん NPO 法人脳腫瘍ネットワーク 理事長
---	---	---	---	--

カンサーチャンネルでも動画公開中→ <http://www.cancerchannel.jp/>



▲高井美紀さんと原純一先生

▲ human note（ヒューマンノート）さん。闘病中の方と一緒に歌う病院コンサートや、院内学級の子どもの交流にも力を入れています
▲より子さん。小児がん体験者。自分が生かされた意味を考え、「生きる」ことを伝える作品作りをされています

8月26日に大阪（MBS本社1階）でやまぐちプラザステージでセミナーを開催。当日は、小児がんについての解説や、親の気持ちをテーマにしたトークセッション、より子さんの演奏、human note のコーラスもあり、来場者から「より子さんの「生き深い」という言葉がジーンときました」と感想をいただきました。

8/26 Jump Over Cancer へご協力をありがとうございました！

こどものがんについて 原 純一先生 大阪市立総合医療センター 副院長	トークセッション より子 シンガーソングライター	トークセッション 北東 恭子 コーラスグループ human note	司会 高井 美紀 毎日放送（MBS） アナウンサー
---	--------------------------------	---	------------------------------------

参加者
61名

ありがとうございました

過去セミナーを視聴→ <http://www.cancernet.jp/mbscnj/postvideos>

ブルーリボンキャラバン
もっと知ってほしい
大腸がんのこと 2014 in 名古屋

がんを生きる「脳腫瘍治療の現状と希望の未来」
もっと知ってほしい
脳腫瘍のこと 2014 in 東京

MBS × CNJ Jump Over Cancer 第三回
もっと知ってほしいがんのこと
小児がん～こどもの気持ち・親の気持ち～

各イベント・お申し込みは **CNJ**



<http://www.cancernet.jp/event>

10/15
(水)
・
11/19
(水)
・
12/17
(水)
東京

**アピタル夜間学校シリーズ
アピタルがん夜間学校**

参加費／無料
時 間／19:30～21:00
場 所／秋葉原UDX 4階
(東京都千代田区外神田 4-14-1)

10月15日(水) もっと知ってほしい **がん**と脱毛・皮膚のケアのこと
講師：国立がん研究センター 皮膚腫瘍科 山崎 直也

11月19日(水) もっと知ってほしい **がん**と感染症のこと
講師：虎の門病院 臨床感染症部 荒岡 秀樹

12月17日(水) もっと知ってほしい **がん**と口腔ケア・デンタルケアのこと
講師：静岡がんセンター 歯科口腔外科 百合草 健圭志

特設サイト／<http://www.cancernet.jp/event/apitalcancer>

毎月第3水曜日秋葉原 UDX にて
『アピタルがん夜間学校』開催中！

10/4
(土)
青森

**ペリウィンクルリボンキャラバン
もっと知ってほしい
「胃がん」のこと**



開催日／10月4日(土) 参加費／無料
時 間／13:00～16:00
場 所／アピオあおもり(青森市中央3丁目17-1)

当日の講師紹介

青森県立中央病院 病院長	吉田 茂昭
弘前大学大学院医学研究科 地域がん疫学講座	松坂 方士
青森県立中央病院 消化器内科	花畑 憲洋
弘前大学大学院医学研究科 消化器外科	和嶋 直紀
三沢市立三沢病院 消化器内科・腫瘍内科	坂田 優

セミナーページ／<http://www.cancernet.jp/14358>

10/23
(木)
大阪

**BLUE RIBBON CARAVAN
もっと知ってほしい
「大腸がん」のこと**



開催日／10月23日(木) 参加費／無料
時 間／13:00～17:00
場 所／ブリーゼプラザ(大阪市北区梅田 2-4-9)

いちむじんの
ミニコンサート
も開催！

当日の講師紹介

東京医科歯科大学 特任教授／大腸癌研究会 会長	杉原 健一
金沢大学 名誉教授／城南歯科医院 理事長	山本 悦秀
東京医科歯科大学大学院 腫瘍外科学	石黒 めぐみ
東京女子医科大学 第二外科	板橋 道朗
大阪大学医学部附属病院 消化器外科学	佐藤 太郎
田附興風会医学研究所 北野病院 消化器センター	金澤 旭宣
大阪府立成人病センター 臨床腫瘍科	杉本 直俊

特設サイト／<http://www.cancernet.jp/brc>

10/28
(火)
大阪

**MBS Jump Over Cancer
もっと知ってほしいがんのこと「第4回闘病生活と家族の絆」**



開催日／10月28日(火) 参加費／無料
時間／19:00-20:30 場所／MBS 本社1階 チャヤマチプラザステージ
(大阪府大阪市北区茶屋町 17 番 1 号)

ゲスト／
都 啓一
キーボディスト・作曲家・
音楽プロデューサー



ゲスト／
久宝 留璃子
歌手



特設サイト／<http://www.cancernet.jp/mbscnj/>

11/8
(土)
仙台

**肺がん疾患治療啓発キャンペーン
もっと知ってほしい肺がんのこと in 仙台**



開催日／11月8日(土) 参加費／無料 時間／13:00～16:30
場所／仙台市民会館 小ホール(仙台市青葉区桜ヶ岡公園 4 番 1 号)

当日の講師紹介

東北大学病院 呼吸器内科	一ノ瀬 正和
東北大学病院 呼吸器外科	近藤 丘
宮城県立がんセンター 呼吸器外科	高橋 里美
東北大学病院 放射線治療科	神宮 啓一
仙台厚生病院 呼吸器内科	菅原 俊一

※当日参加者に
無料で冊子を
プレゼント！



司会／折原 聖月
フリーアナウンサー



さとう宗幸さんの
ミニコンサートも開催！

特設サイト／<http://www.cancernet.jp/lungcancer>

過去のセミナーはチャンネルで視聴できます／<http://www.cancerchannel.jp>

海外がん医療 TOPICS

テーマ: 喫煙によるリスクと禁煙のベネフィット

喫煙による肺がんリスクに対する認識は高まりましたが、目覚めてから5分以内に最初のタバコを吸うほどニコチン依存度が高い人は、起床後1時間以上たってタバコを吸う人と比べ、肺がんリスクが3倍以上高まることから、米国国立癌研究所の研究で明らかになりました。もちろん軽度の喫煙者でも肺がんを発症するリスクは高いので、程度にかかわらず禁煙することが非常に重要です。

喫煙によるリスクは肺がんだけでなく
それ以外のがんや疾病のリスク要因でもあります

- ・口腔がん、咽喉がん、腎がん、膀胱がん、膵臓がん、胃がん、子宮頸部がん
- ・心疾患、脳卒中、慢性気管支炎および肺気腫、喘息
- ・妊婦の流産あるいは低出生体重児出産の可能性

米国疾病センターによれば、成人男性喫煙者は喫煙により平均寿命が13.2年、女性では14.5年短くなるそうです。しかし30歳前後で禁煙した人は、喫煙関連疾患で早世するリスクが、そのまま喫煙を続けた場合より90%以上減り、50歳で喫煙した場合でも50%程度減少します。喫煙者にとって、禁煙こそが健康改善のための最も重要な手段です。

年齢や喫煙歴にかかわらず、禁煙によって得られる
健康メリットはたくさんあり、禁煙から比較的早く効果が得ます
禁煙により、次のようなメリットがあります

- ・2、3カ月で、血液循環が改善し、心臓発作のリスクが減少し始める
- ・1カ月から9カ月で咳が減り、肺の機能が改善して感染症のリスクが減る
- ・1年で、冠動脈性疾患のリスクが喫煙を続ける人の半分に減る
15年後には生涯喫煙しない人と同程度まで下がる
- ・2年から5年で、脳卒中リスクが生涯喫煙しない人と同程度に下がる
- ・5年で口腔、咽喉、膀胱がんのリスクが半減し、子宮頸がんリスクは
生涯喫煙しない人と同等になる
- ・10年で咽頭（声帯）及び膵臓がんのリスクが低下する
- ・妊娠から4カ月以内に禁煙を始めた女性は、低出生体重時出産のリスクが
喫煙したことのない女性と同等まで下がる

情報提供／海外癌医療情報リファレンス (www.cancerit.jp)

本誌の感想、CNJに期待すること、
今後開催してほしいセミナー、
参加されたセミナーの感想など、
皆さまからのお便りを募集しています

お便りは、ハガキとメールで受付中！

E-mail: info@cancernet.jp

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2 階

〔NPO 法人キャンサーネットジャパン読者の声係〕宛て



◆現在の主治医の対応が最善である
と再認識し、任せることに悩みが
なくなった。（東京・もっと知ってほしい
がん腫瘍のこと／患者の家族・友人）

◆化学療法と一口に言っても、治
療の個別化が進んでいることが分か
りました。（東京・もっと知ってほしいがん
と化学療法のこと／治療後5年以内）

◆なかなか、主治医の先生には忙
しそうで聞けなかったことが、分か
りやすく説明があったこと、感謝申
し上げます。今後の治療、頑張っ
て受けていきたいと思いました。（熊本・
もっと知ってほしい胃がんのこと／患者）

セミナーのアンケートから、参加者
の皆さんの声を紹介します。

みんなの声 Users Voice

CNJ Speakers 季刊誌 2014 年 Autumn

発行日 / 2014 年 10 月

編集発行 / NPO 法人キャンサーネットジャパン

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2 階

電話 / 03-5840-6072 FAX / 03-5840-6073

E-mail: info@cancernet.jp

ホームページ: http://www.cancernet.jp

次号 予告 CNJ Speakers 8 号は
2015 年 1 月発刊です



橋本 真由美
BEC3 期生です！大阪
事務所でも予約制で若
年性乳がん患者のため
のおしゃべり会なども
開催しています！

大阪事務局が開局して5年、ス
タート時からスタッフ橋本です。
乳がん罹患をきっかけに、CNJと
乳がん体験者コーディネーター資格
に巡り会い活動をするきっかけとな
りました。今や「がんは2人に1人
が罹患する時代」と言われ、特別な
病ではないと痛感しています。自身
でもこの現状を踏まえることにより
気持ち的に随分と楽になりました。
これからも共感することや寄り添う
気持ちを変えず持ち続け、サポー
トが出来ればと思っています。

スタッフの声 Staff Voice

キャンサーネットジャパンボランティア大募集!!

お手伝いしていただけるボランティアさんを募集中です。事務所での軽作業や
セミナー会場でのお手伝いなど、ご都合の良い時間にぜひご協力をお願い致します。



■場所／東京事務所（東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K & K ビル 2 階）もしくは各セミナー開催都市

※登録制になりますので、まずは以下の情報をそえて info@cancernet.jp もしくは FAX:03-5840-6073 にご連絡下さい。

・氏名・年齢・参加可能都市・希望曜日や頻度（月1・2回可能）など。がん体験者はお知らせください（作業の負担を考慮します）

※ボランティアは無償になります ※CNJの活動主旨などを確認し賛同いただける方のみ

ナース専科 × CNJ タイアップセミナー

2014年
10月～12月の毎月第2土曜日開催

10月11日(土) 退院後の「生活」を意識した看護ケアを学ぼう
13:00～16:30 **～もっと知ってほしい がん患者のセルフケア～**

11月8日(土) 疼痛からトータルペインまで
13:00～16:30 **～もっと知ってほしい緩和ケア～**

12月13日(土) 近年の分子標的薬剤もわかる
13:00～16:30 **～もっと知ってほしいがんの薬物療法とその副作用マネジメント～**

【場所】株式会社エス・エム・エス本社セミナールーム
東京都港区芝公園 2-11-1 住友不動産芝公園タワー 18 階

【受講料】5000円(税込) 【定員】80名(先着順)
(※受講者には修了証を発行します)

【申込先】ナース専科セミナー運営事務局
☎0120-938-797 (平日10:00～18:00)
<http://nurse-senka.jp/contents/seminar/>

がん体験者によるピアサポート

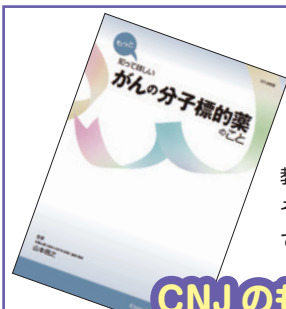
※ピアサポートよこはま・相模原協同病院の実施日の変更があります。

開催 場所 日時	済生会横浜市南部病院 (横浜市港南区港南台 3-2-10)	毎週月・金曜	11時00分～16時00分	面接相談 (電話での相談は行っていません。)
	横浜労災病院内 (横浜市港北区小机 3211)	毎週火曜	10時30分～15時00分	面接相談 (電話での相談は行っていません。)
	ピアサポートよこはま (横浜市神奈川区台町 7-2-715)	毎週月・水・金曜	10時00分～14時30分	電話相談および面接相談 電話: 045-313-1331
	相模原協同病院内 (相模原市緑区橋本 2-8-18)	第1・3水曜/2・4木曜	10時00分～15時30分	面接相談 (電話での相談は行っていません。)
	横須賀共済病院内 (横須賀市米が浜通 1-16)	毎週木曜	10時00分～15時00分	面接相談 (電話での相談は行っていません。)
	大和市立病院内 (大和市深見西 8-3-6)	毎週金曜	10時00分～14時30分	面接相談 (電話での相談は行っていません。)

家族や職場に
どう話したらいいの?

再発への
不安な気持ちを
話してみようかな...

がんと言われて
不安な気持ちを
誰かに聞いて
もらいたい...



もっと知ってほしい

がんの分子標的薬のこと

和歌山県立医科大学内科学第三講座の山本信之教授監修のもと、がんの分子標的薬とはなにか、その種類や副作用など、患者さんやご家族が知っておきたいことを全16ページにまとめています。

CNJ のもっとわかる出版物のはなし

<http://www.cancernet.jp/publish>

無料でダウンロードできます!



NEW

Cancer Awareness Network Idol Project

11/16
(SUN)

小児がん・AYA 世代のがん疾患啓発・治療研究支援を目的としたチャリティー・ライブ
LinQ (リンク) 111 人限定プレミアムライブ!!

～君の心に火を灯す CAN-Dol Premium Live@ 誓願寺 (京都)～

「樋口宗孝がん研究基金」の主催による、小児がん・AYA (15 歳～29 歳) 世代のがん疾患啓発、治療研究支援を目的に開催するチャリティー・ライブのひとつで、CAN-Dol とは、Cancer Awareness Idol (がん疾患啓発に協力してくれるアイドル) の略です。

<http://www.cancernet.jp/mhf4car/can-dol/>

丁寧なメンテナンス済み 完全リフォーム ネットで注文 治療開始に間に合います

— 医療用ウィッグの新しい選び方 —
医療用かつらレンタル・デイリースをご利用いただいた患者さまが無事に治療を終えられて、不要となったウィッグを完全にリフォームしてご提供します。

ご提供価格 **8,800円** (税込)

すぐつけたい スタイルが見える 高品質なかつらがいい

※詳細は、CNJ の HP で発表します。

CancerChannel

患者・家族・支援者・医療者のための
新しいがん医療情報のカタチ。

映像×SNS サイトの閲覧はすべて **無料**

がん医療セミナーやがん医療情報の映像を web* から配信。
スマートフォンやタブレットからも閲覧できます。(*Ustream・Youtube mediasite)

※スマートフォンやタブレットからのUstream、Youtube閲覧には専用のアプリのインストールが必要です。

<http://www.cancerchannel.jp>



会員

寄付

募集

NPO 法人キャンサーネットジャパンは「患者擁護の観点から、科学的根拠に基づくあらゆるがん医療情報の発信とがん疾患啓発を行うこと」をミッションとして活動する特定非営利活動法人です。

<http://www.cancernet.jp>

このスペースに 広告を掲載しませんか?

※広告の掲載のお申し込みは、以下の発刊月の1ヶ月前までにお願い致します。
4月・7月・10月・1月の年4回発刊します。

※広告の掲載スペースにより金額が変わります。詳しくはお問い合わせ下さい。
NPO 法人キャンサーネットジャパン 季刊誌広告係まで / info@cancernet.jp